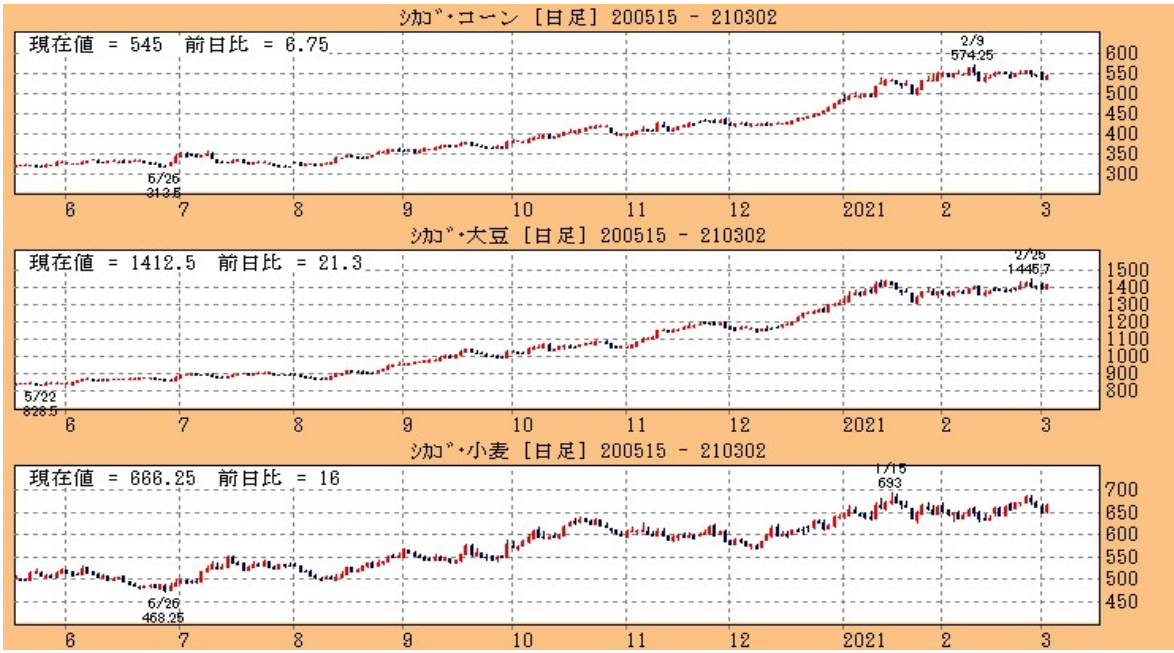
週刊穀物

世界の穀物情報がここに凝縮されています。
毎週水曜日夕方発行

トウモロコシ、大豆は反発

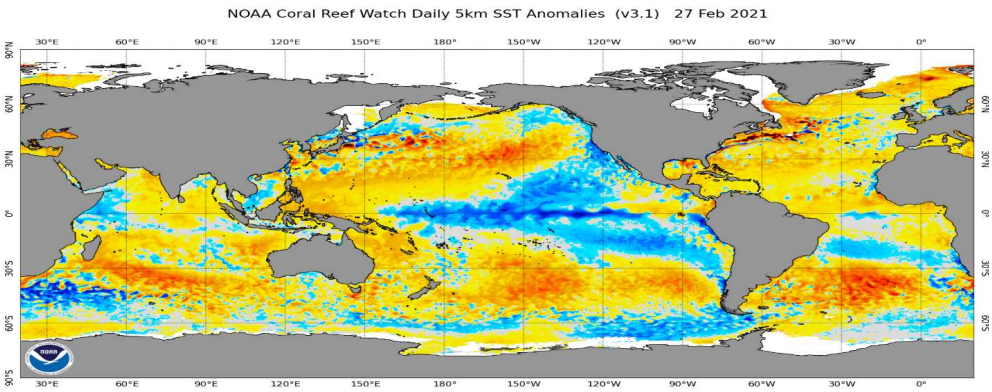
発行日　：　2021/3/4



2日のシカゴトウモロコシ5月限は前日比＋6.75セント高の545.00セントと反発。取引レンジは531.50セント～548.50セント。一時、先月11日以来の安値水準まで下落したが、切り返した。アルゼンチンの高温で乾燥した天候に対する懸念が高まったことによる南米の供給不安に加えて、米国の冬小麦の作柄悪化を受けてシカゴ小麦が急反発したことで、コーンの作付遅れも連想されたことで買いが優勢となった。また、米農務省が日本向けに大口成約があったと発表したことも支援要因。

2日のシカゴ大豆5月限は前日比＋21.25セント高の1412.50セントと反発。取引レンジは1380.75セント～1416.50セント。先週、米国の需給懸念を背景に1445.75セントまで上昇し、2014年6月以来の高値を付けており、修正安の動きが引き続き見られ、時間外取引で1380.75セントの安値を付けたが、2月26日以来の水準まで下押されたことで売り一巡感が強まったほか、他商品の安値からの切り返しを好材料にして大豆も大きく買い直された。また、多雨の続くブラジルでの収穫遅れ懸念が手掛かりとなって上げ幅を拡大した。ドル安も買い安心感につながっていたもよう。

2日のシカゴ小麦5月限は前日比＋16.00セント高の666.25セントと大幅反発。取引レンジは645.50セント～668.75セント。米農務省が1日に公表した週間の作柄報告が主産地で軒並み悪化し、供給懸念が台頭したことから買いが優勢となった。一時、先月18日以来の安値を付けたが、これまでの下落の後で売り一巡感が強まったこともあり買い戻された。



世界の海面水温

太平洋上の海水温度は例年より低いままで、まだラニーニャが続いている。

ただ、気象庁は春には収束する可能性が高いと述べている。

TOPICs　ウクライナのトウモロコシ需給

チトン・チヘクタール	13/14年度	14/15年度	前年比	15/16年度	前年比	16/17年度	前年比	17/18年度	前年比	18/19年度	前年比	19/20年度	前年比	前年比%	20/21年度	前年比	前年比%
作付面積	4,827	4,630	▲197	4,084	▲546	4,252	+168	4,432	+180	4,565	+133	5,005	+440	+9.6%	5,351	+346	+6.9%
期初在庫	1,191	2,402	+1,211	1,876	▲526	1,385	▲491	1,549	+164	1,567	+18	886	▲681	▲43.5%	1,541	+655	+73.9%
生産	30,949	28,504	▲2,445	23,330	▲5,174	28,075	+4,745	24,114	▲3,961	35,805	+11,691	35,855	+50	+0.1%	30,936	▲4,919	▲13.7%
輸入	57	30	▲27	30	+0	30	+0	39	+9	35	▲4	29	▲6	▲17.1%	30	+1	+3.4%
供給合計	32,197	30,936	▲1,261	26,236	▲4,700	29,490	+3,254	25,702	▲3,788	37,407	+11,705	36,770	▲637	▲1.7%	32,507	▲4,263	▲11.6%
輸出	20,005	19,660	▲345	16,100	▲3,560	21,334	+5,234	18,036	▲3,298	30,321	+12,285	28,929	▲1,392	▲4.6%	26,100	▲2,829	▲9.8%
飼料用他需要	8,300	8,000	▲300	6,800	▲1,200	5,500	▲1,300	5,000	▲500	5,000	+0	5,100	+100	+2.0%	4,300	▲800	▲15.7%
食料需要	1,400	1,400	+0	1,400	+0	1,400	+0	1,300	▲100	1,200	▲100	1,200	+0	+0.0%	1,200	+0	+0.0%
国内需要合計	5,700	9,400	+3,700	8,200	▲1,200	6,900	▲1,300	6,300	▲600	6,200	▲100	6,300	+100	+1.6%	5,500	▲800	▲12.7%
輸出＋国内需要	25,705	29,060	+3,355	24,300	▲4,760	29,490	+5,190	25,702	▲3,788	37,407	+11,705	36,775	▲632	▲1.7%	39,350	+2,575	+7.0%
期末在庫	2,492	1,876	▲616	936	▲940	1,256	+320	1,366	+110	886	▲480	1,541	+655	+73.9%	907	▲634	▲41.1%
期末在庫率	9.7%	#VALUE!	#VALUE!	3.9%	#VALUE!	4.3%	+0.4%	5.3%	+1.1%	2.4%	▲2.9%	4.2%	+1.8%	+76.9%	2.3%	▲1.9%	▲45.0%
単収						6.6028		5.4409	▲1.1619	7.8434	+2.4025	7.1638	▲0.6796	▲8.7%	5.7813	▲1.3825	▲19.3%

南部の干ばつで、トウモロコシ生産は▲14%減少

ここ数年ウクライナの農民はトウモロコシの収穫を遅らせるようになっている。通常は12月末までに収穫されるものだが、一部の農家は1月～2月、時には3月まで収穫しないことがある。これはこうしてトウモロコシを畑で越冬させると以下のような利点があるためだ。

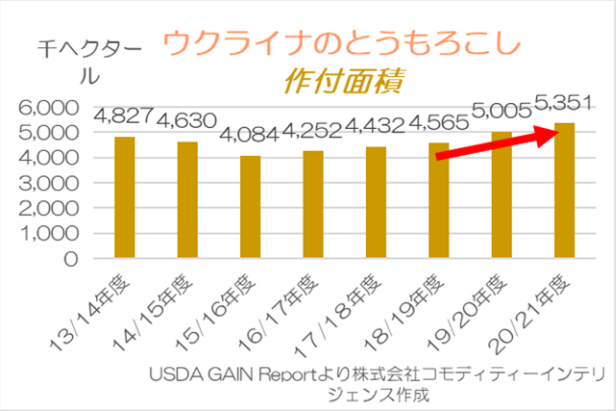
★　収穫を遅らせてもトウモロコシの品質には影響がない。
★　農家はより季節的で、現金化しやすいひまわり等の作物を収穫して販売することができる。
★　穀物倉庫を空にして穀物輸送トラックの需給を調整するなど、物流コストの低減を図ることができる。
★　秋に収穫するものより、畑で自然乾燥させることで乾燥費用が節約できる。

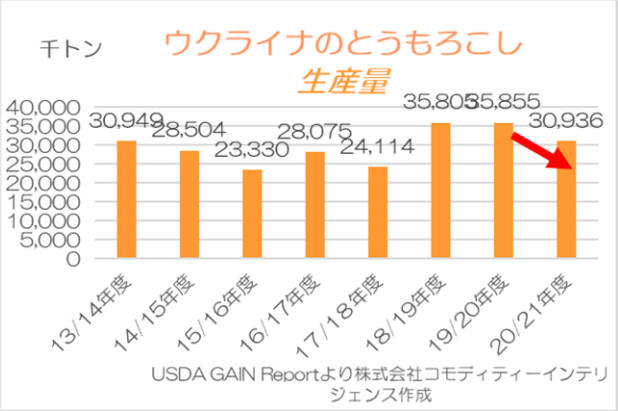
但し問題点もある。それは虫食いが発生したり、湿気でトウモロコシが畑に落ちると収穫機械では回収できなくなることだ。

ウクライナ経済発展貿易及び農業省のデータは、秋に収穫されたものを記載しているため、ウクライナ統計局の数値との間に
5～10%の少ない数量となっている。上記の数値は、そうした誤差を上方修正したものである。

20/21年度は南部ウクライナ地方で干ばつがあり、穀物の生産量は軒並み前年割れとなっている。

大麦	前年比▲17%
トウモロコシ	同　▲14%
小麦	同　▲15%





輸出も減少

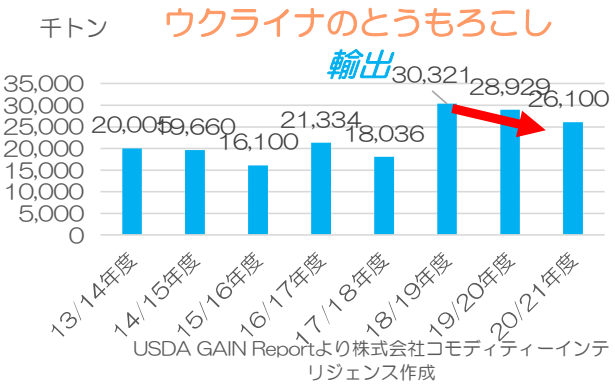
トウモロコシの輸出量は19/20年度が前年比▲5%減の2892万トンで、20/21年度は更に▲10%減少している。

ウクライナ政府はトウモロコシ輸出を制限

ウクライナ政府は、20/21年度(10月～9月）のトウモロコシの輸出上限を2,400万トンに設定する合意をウクライナ経済開発貿易・農業省（MEDTA）と、ウクライナと国際的な利害関係を有する多くのNGO法人が1月3日署名した。2021年1月3日、覚書の補遺に署名した。同様に小麦は1750万トン、大麦は1000トンを上限とされている。3月2日時点で、小麦は輸出割り当ての78.3%がすでに割り当てられたという。

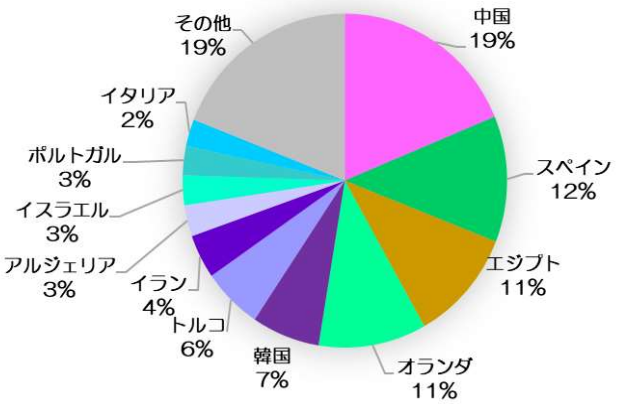
ウクライナ産トウモロコシの主な輸出先

18/19年度まではスペインが1位だったが、中国は17/18年と共に19/20年も首位となった。日本は16/17年を最後にそれ以降は購入していない。



USDA GAIN Reportより株式会社コモディティーインテリジェンス作成

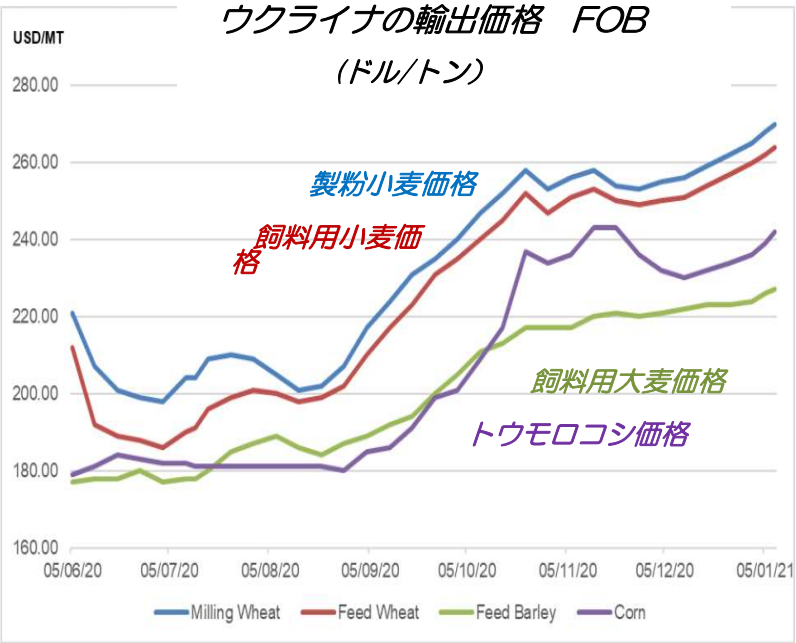
ウクライナのトウモロコシ輸出先



	13/14年度		14/15年度10月~6月		15/16年度		16/17年度		17/18年度		18/19年度		19/20年度	
	輸出量	シェア	輸出量	シェア	輸出量	シェア	輸出量	シェア	輸出量	シェア	輸出量	シェア	輸出量	シェア
世界	20,005	100.0%	18,203	100.0%	16,595	100.0%	21,334	100.0%	18,035	100.0%	30,321	100.0%	28,929	100.0%
中国	519	2.6%	3,865	21.2%	2,376	14.3%	1,488	7.0%	2,780	15.4%	3,820	12.6%	5,425	18.8%
スペイン	2,997	15.0%	2,307	12.7%	2,738	16.5%	2,485	11.6%	1,619	9.0%	4,270	14.1%	3,530	12.2%
エジプト	2,528	12.6%	3,015	16.6%	2,181	13.1%	3,363	15.8%	2,416	13.4%	3,053	10.1%	3,152	10.9%
オランダ	1,744	8.7%	1,183	6.5%	1,358	8.2%	2,619	12.3%	2,462	13.7%	4,129	13.6%	3,108	10.7%
韓国	1,770	8.8%	1,772	9.7%	93	0.6%	663	3.1%	1	0.0%	339	1.1%	1,964	6.8%
トルコ	40	0.2%	36	0.2%	23	0.1%	321	1.5%	1,040	5.8%	2,425	8.0%	1,724	6.0%
イラン	1,500	7.5%	777	4.3%	673	4.1%	2,196	10.3%	1,246	6.9%	777	2.6%	1,233	4.3%
アルジェリア	161	0.8%	181	1.0%	110	0.7%	157	0.7%	30	0.2%	744	2.5%	875	3.0%
イスラエル	672	3.4%	85	0.5%	601	3.6%	976	4.6%	1,008	5.6%	1,128	3.7%	834	2.9%
ポルトガル	936	4.7%	479	2.6%	853	5.1%	844	4.0%	717	4.0%	696	2.3%	816	2.8%
イタリア	1,523	7.6%	739	4.1%	1,579	9.5%	1,635	7.7%	1,725	9.6%	1,683	5.5%	757	2.6%
アイルランド	363	1.8%	224	1.2%	362	2.2%	263	1.2%	332	1.8%	643	2.1%	658	2.3%
英国	623	3.1%	152	0.8%	141	0.9%	276	1.3%	254	1.4%	804	2.7%	640	2.2%
ベルギー	605	3.0%	48	0.3%	480	2.9%	551	2.6%	558	3.1%	735	2.4%	603	2.1%
リビア	391	2.0%	332	1.8%	315	1.9%	547	2.6%	353	2.0%	520	1.7%	554	1.9%
ドイツ	490	2.5%	257	1.4%	449	2.7%	91	0.4%	287	1.6%	1,819	6.0%	495	1.7%
チュニジア	417	2.1%	714	3.9%	701	4.2%	888	4.2%	564	3.1%	515	1.7%	473	1.6%
モロッコ	79	0.4%	0	0.0%	17	0.1%	15	0.1%	12	0.1%	65	0.2%	286	1.0%
リトアニア	288	1.4%	88	0.5%	93	0.6%	84	0.4%	52	0.3%	416	1.4%	260	0.9%
その他	2,358	11.8%	1,949	10.7%	1,455	8.8%	1,873	8.8%	576	3.2%	1,741	5.7%	1,544	5.3%

ウクライナ国内穀物価格上昇

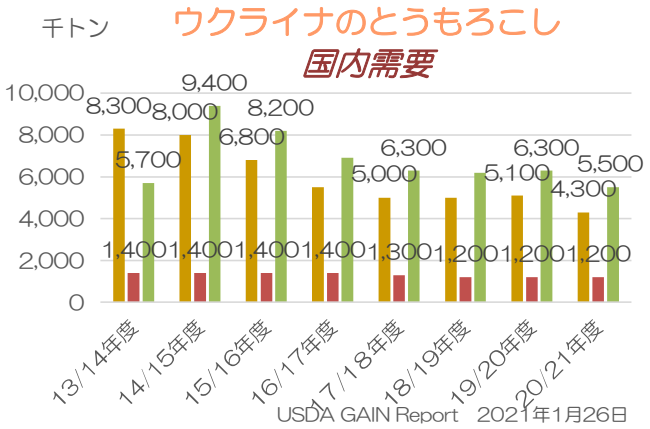
右図はウクライナの穀物輸出価格であるが、すべての穀物価格が上昇している。穀物を購入した企業が農民からの受渡が滞り、価格が上昇した。



ウクライナ国内穀物価格上昇

穀物価格の上昇により、飼料価格が値上がりした結果、畜産業の飼育頭数が減少し、飼料需要が減少している。20/21年度の飼料用穀物需要は▲5%減少する見込み。

百万トン	18/19年度	19/20年度	20/21年度
トウモロコシ	5000	5100	4300
大麦	2900	3400	2900
ライ麦	2	2	2
小麦	3400	2200	3000
合計	11302	10702	10202



TOPICｓ　その他のニュース

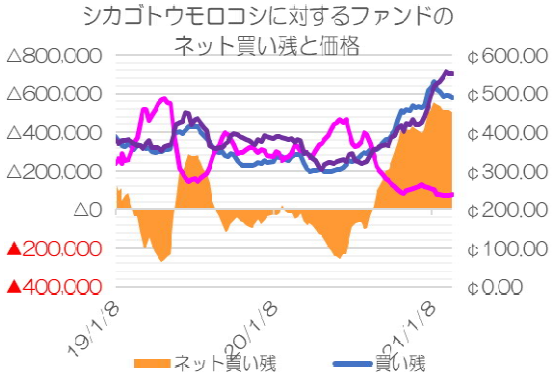
中国雲南省でアフリカ豚熱

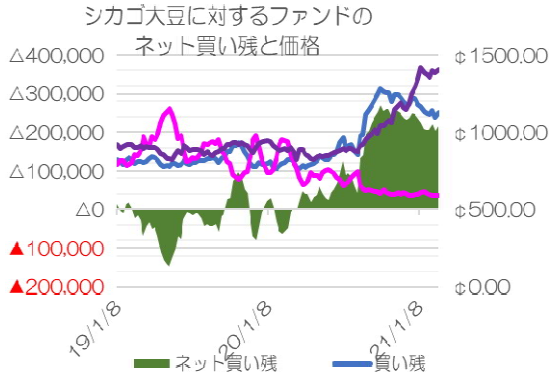
1月に中国農業農村省は広東省でアフリカ豚熱（ＡＳＦ）の感染が確認されたと発表したが、雲南省でも新たにアフリカ豚熱が確認された。中国では昨年10月26日を最後にアフリカ豚熱の感染は確認されていなかった。1月に感染が確認されたのは広東省梅州市平原県の農場（飼育数1,015頭）で、214頭が殺処分された。豚の違法輸送が感染の原因となった可能性があるという。雲南省でも遺法な豚の輸送が原因と言われている。

米国のトウモロコシの輸出保険は7年ぶりの高値

米国の作物保険価格の保証は、大豆、トウモロコシの作付面積の増加を示唆している。2021 年の栽培シーズンの価格を保証する作物保険は、トウモロコシでは 7 年ぶりの高値、大豆では 8 年ぶりの高値となり、両作物の記録的な総作付面積への期待が高まっている、とアナリストは述べている。米国農務省（USDA）は、保険に加入している農家が支払いを受けるための基準価格として、米国の大部分の作物地帯において、トウモロコシではブッシェル当たり 4.58 ドル、大豆ではブッシェル当たり 11.87 ドルの保証を設定している。

TOPICｓ　ファンドの建玉





今後の予想

ウクライナでもトウモロコシの生産量は落ち込み　小麦等他の穀物と共に輸出割り当てが課せられている。ウクライナ国内の穀物価格は上昇しており、南米のみならず大手生産国での供給が限られている。今後はブラジルとアルゼンチンの二期作がどの程度出荷されるか、また中国の内需がどの程度輸入を必要とするかがポイントとなるだろう。

ご案内

You -Tubeで金や原油の動画解説中

毎週月曜日午後8時　Gold TV netにて金やプラチナ・原油の解説をYou Tubeの動画で近藤 雅世と小針秀夫が行っております。サイトは『Gold TV net』検索ください。*https://gold-tv.net/*

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス （以下「COMMi」という） が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したものですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっておらず、また、いかなる責任を持つものでもありません。
本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。
本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正･加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。
COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。
本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。
本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。
COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

発行元：
株式会社コモディティー インテリジェンス4東京都中央区日本橋蛎殻町1丁目11-3-310
会社電話： 03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
メールアドレス： kondo@commi.cc